

## 本市の学力実態について

～『成果と課題』及び『学力向上に向けた取組み』～

本市では、主に以下の調査結果をもとに本市の学力実態を把握している。

- ※全国的な教育水準を測定するため、文部科学省が実施している調査
  - ・『全国学力・学習状況調査』
- ※学力実態の把握のため、本市が予算化して実施している調査
  - ・『集団基準に準拠した標準学力調査』（図書文化社版 NRT検査）
  - ・『目標基準に準拠した標準学力調査』（東京書籍版）

注) なお、調査で得られた結果は、ある学年及び教科に限定されたものであり、学力の特定の一部分に過ぎないことを考慮する必要があります。

## 【成果】

- 基礎・基本に関する学習内容について、本市の教育水準はおおむね維持されている。
- それぞれの調査結果を分析し、課題克服に向けて、学ぶ集団づくりの実践が各学校で推進されている。
- 学校及び児童生徒個々の調査結果を追跡していくと、学年を経るにつれ学習効果が表れている例が多く見られる。

## 【課題】

- 学年及び教科により、学校間で差が見られる部分がある。
- 全国学力・学習状況調査の結果では、知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力等に課題がある。
- 中学校において、英語科で全国平均をやや下回る調査結果が見られる。

## 【学力向上推進に向けた本市の主な取組み】

- 県教育委員会・県教育センターと連携し、学力向上を図る。
  - ・学力向上実践研究推進事業（文部科学省指定 H22年度まで）  
西郷小・成徳小・河北中の3校で学力向上に向けた調査研究の実施。
  - ・中部地区小・中学校講師研修会（中部地区市町と中部教育局が共催）  
年2回開催し、講師の指導力向上を図る。
  - ・初任者研修（県教育センターと共同）  
市で5講座を受持ち、初任者の指導力向上を図る。
- 学校計画訪問を実施し、学習指導の工夫改善について助言を行う。
- 各学校の授業研究会に指導主事が赴き、学習指導の工夫改善について助言を行う。
- 調査結果を基にした資料を配付し、啓発活動を行う。  
(別紙 学校配布用啓発資料参照)